

科研成果報告会・公開シンポジウム

日本語教育学における 質的研究の現在と展望

日時 | 2026年12月12日(土)
13:00～16:00

会場

神戸国際会館セミナーハウス
7階 701号会議室
(JR三ノ宮駅から徒歩 3分)

プログラム

第一部 科研成果報告会

香月裕介（神戸学院大学・研究代表者）、伊藤翼斗（京都工芸繊維大学・研究分担者）
大河内瞳（桃山学院大学・研究分担者）

これまで実施してきた「日本語教育学における質的研究プラットフォーム構築のための基礎研究」（基盤研究（C）22K00652）を振り返り、日本語教育学における質的研究をメタ研究した結果についてや、開発した「日本語教育研究者のためのパラダイム診断」についてご紹介します。

第二部 講演 舘岡洋子先生（早稲田大学） 「なぜ質的研究をするのか」

日本語教育学における質的研究に長年取り組んでいらっしゃる舘岡洋子先生をお招きし、私たちはなぜ質的研究をするのかについてお話しいただきます。

第三部 ディスカッション

質的研究を学ぶ「場を作る」ことの先にある、「場を育てていく」「場が成長していく」ために必要なことは何か、参加者同士でディスカッションを行います。

お申し込みはこちら

<https://forms.gle/MQQ2cJKzbfxb6Q57>

申込締切 | 2026年12月5日(土)

定員 | 50名

問い合わせ先 香月裕介 (ykatsuki@gc.kobegakuin.ac.jp)

このイベントは、日本学術振興会 基盤研究(C) 22K00652「日本語教育学における質的研究プラットフォーム構築のための基礎研究」(研究代表者:香月裕介)の助成を受けたものです。